

アジア・オセアニア高校生フォーラムに参加して

私がアジア・オセアニア高校生フォーラムに参加したきっかけは、1年の総学の時間に、推薦入学が決まった3年生の話聞いたことです。「アジア・オセアニア高校生フォーラムに参加し、たくさんの外国の人たちと話せ、楽しかった。」と言っていたのを聞いて、このフォーラムのことを知りました。今回、先生から配られた応募のプリントを見たときに、ぜひ参加したいと思い、応募しました。

フォーラム本番までにはまず、発表するテーマについての原稿をすべて英語で書いて提出します。私は特に英語が得意というわけでもなかったのですが、テーマが防災ということで、防災関係で馴染みのない英単語を使いながら原稿を書くのにはとても苦労しました。また発表用のプレゼンシートもパワーポイントで作成しました。皆がわかりやすいように、図やイラストを入れて作ったのですが、初めてだったので少し難しかったです。先生や父に手伝ってもらいながら、仕上げることができました。プレゼンシートが仕上がってからは、発表の練習をしました。決められた時間に英語で発表するために、放課後や夏休みの補習の日を使って何度も練習しました。英語のアクセントに気をつけることや、できるだけ原稿を見ずに話すことに苦労しました。

私は7/30から8/1までフォーラムに参加しました。1日目は外国の参加者たちと一緒に高野山へ行き、親睦を深めました。高野山高校の人たちが英語で案内してくれました。フォーラム中は参加者全員が同じホテルに宿泊し、1日目の夕食後には、次の日の開会式のリハーサルや、3日目の全体会の打ち合わせを行いました。2日目の夕食の後も、次の日の全体会の打ち合わせをしました。フォーラム自体が英語で行われるので、打ち合わせももちろん英語で進められました。英語を聞き取ることや、意見を求められたときに英語で答えるのは大変でしたが、本番に向けて良い準備時間になりました。

2日目は分科会で、テーマは「防災」、「観光」、「人権と人権教育」、「国際問題」、「環境問題」でした。私は防災の分科会に参加し、パワーポイントを使って発表しました。3日目は全体会で、それぞれの分科会で発表したことのまとめを司会の生徒たちが発表し、会場にいる人々と討論しました。それぞれのテーマごとに、私たち発表者が壇上に上がりました。前日に打ち合わせをしていたのですが、オーディエンスからどのような質問が出るかはわからなかったのが、緊張しました。

フォーラム中は、すべてが英語で行われました。英語を使って考えたり会話をしたりすることを実際に体験できて、よかったです。事前の打ち合わせはもちろん、食事のときや宿泊の注意事項も英語で伝えられるので、今まで知らなかった英単語や英文を知ることができました。また、外国の同じ世代の人たちと仲良くなれたことも、フォーラムに参加してよかったと思う理由の1つです。外国ではTwitterよりFacebookやInstagramを使って交流している人が多く、私もInstagramを開設して、写真を交換しています。そのときに写真につけるコメントも英語なので、交流を楽しみながら英語の勉強をすることができます。

アジアオセアニア高校生フォーラムについて

私は大久保さんが発表した防災カテゴリーのコーディネーターを担当しました。分科会の前夜からカテゴリー別の打ち合わせがあり、それぞれの発表内容について確認を行うところから始まりました。全体会で発表する各プレゼンテーションのまとめを確認する中で、生徒たちは、それぞれの国や地域の状況について話をし、状況が違えば抱えている課題も違うということを実感したようでした。資料で読むのではなく、その国や地域の人から直接得た情報は、とても印象的だったようです。この打ち合わせまでは自分の発表に集中していましたが、このような話し合いを通してお互いの発表に興味を持ち、チームとしてカテゴリーの発表を成功させようという雰囲気を作ることができました。また、その中で受けた質問や意見により、自分の発表についての考えもさらに深められた様子でした。

分科会では、生徒は緊張しながらも堂々と発表を行うことができていました。トピックが防災ということで、難しい英単語も使われており、質疑応答の時間が長く感じられた部分もありましたが、なんとか終わることができました。それぞれの発表における課題を見つけつつも、皆達成感を得られた様子でした。夜には前日と同様打ち合わせの時間があり、全体会に向けての準備を行いました。舞台上で各国の状況や自分の意見を発表するトピックについては、災害時のトイレ問題を取り上げ、互いにアドバイスをし合いながら、どのような話をするかを考えました。発表を良いものにしたいという気持ちから、生徒も夜遅くまで残り、プレゼンシートの改善もしました。準備の甲斐もあり、全体会の前半は予定通り進み、質疑応答の時間には多少苦戦をしたものの、なんとか乗り越えることができました。

個人のプレゼンテーションについては、フォーラムの日程に入るまでに仕上げていましたが、同じ防災というテーマで作られた他の生徒のプレゼンテーションについて話し合う中で気づきがあったり、英語でやりとりをする楽しさと難しさを同時に感じたり、フォーラム期間中のすべての活動を通して、生徒の発表に対する姿勢や今後の学習へのモチベーションが高まっていったようでした。私は分科会前夜の打ち合わせから全体会までを担当しましたが、本当に生徒が大きく成長したのを感じました。新しくできたつながりを大切に、今後も広い視野で物事を見て、様々な人々と協力しながら課題の解決に取り組んでくれることを期待しています。